

# 2007-2012 浜松市議会議員としての6年間の軌跡



31歳

若さ★キラめく感性が静岡の未来を創る!

平成19年の初当選以来、多くの皆様の支えに恵まれて、6年間を浜松市議会議員として務めることができました。この間、地域課題の解決はもちろんのこと、政令指定都市にふさわしい地方議会像を追求し、常に新しいことにチャレンジして参りました。その一つの成果が、「マニフェスト大賞地方議会部門」での優秀賞受賞であったと振り返ります。しかし、人口減少や少子高齢化など、社会を取り巻く環境は刻一刻と変わります。不断の努力で、議会改革や自立した都市経営の確立のために力を尽くしていかねばなりません。とりわけ、広域的な課題である防潮堤の築堤や内陸部の土地活用など、これからはより一層、県と市の良好な連携が求められることとなります。6年間の経験をフルに生かし、「think Shizuoka, act Hamamatsu(静岡規模で考え、浜松地域で行動する)」の精神で、静岡県と浜松市の若き架け橋となる!どうぞ、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



▲地域や現場の声を聞く。議員活動の基本です。



▲初登庁。市議会議員としての第一歩を踏み出しました。



▲初めての一般質問。以来、毎年登壇し、数々の提言を行ってきました。



▲毎年受け入れている学生インターン。自らの政治家志望のきっかけでもありました。



▲「浜松出世城まつり」で甲冑隊と。浜松は出世の街!!



▲第7回マニフェスト大賞授賞式。今日における地方議会のあり方を模索し続けていきます!



▲後援会での活動報告。定期的開催し、情報発信に努めました。



▲会派で初めての試みとなる市政報告会を開催。議会・会派活動の見える化を進めました。



▲2期目の戦い。おかげ様で再選を果たす!



▲母校での先輩による課外授業の一コマ。若者に対する政治参画意識の向上が求められています。



▲東日本大震災で被災した大船渡市を訪ねる。議会としての対応策も学びました。

# 山崎しんのすけ